

## 令和元（2019）年度 卒業時アンケート調査結果の分析 （食物栄養学科）

IR 副委員長 澤辺桃子

2020年3月14日に卒業した学生を対象としたアンケート調査の結果について、食物栄養学科（回収率93.2%）の内容に関して、以下の通りに分析した。

本学の学びにおける自分自身の成長については、大変そう思う、ややそう思うが合わせて91%であり、9割以上の卒業生が成長実感をもっていた。在学中の取組としては、「短大での勉強」に最も力を入れたと回答しており、次いで「アルバイト」、「Wスクール」、「資格取得」と続いている。学業を第一に考えた学生生活を送っているものの、それを支える経済面についても努力している様子をうかがい知ることができる。

本学の学びで身に付いた項目としては、「知識」と「コミュニケーション力」が挙げられ、実験・実習科目において学生同士の協力の機会が多いことが好影響を与えていると推察される。教育内容の満足度評価においても100点満点中80~90点の回答がもっとも多く、満足感が得られている。また、本学を勧めるか、の問いに対しては、74%が大変そう思う、ややそう思うと好意的な回答であった。今後の入試広報を考えると、9割以上の卒業生が勧めたいと考える学校となるように、さらなる努力が必要である。

卒業後の進路については、まったく希望通りではない、との回答が4%あり、この点は大きな課題である。入学早期から栄養士としての使命感や就職にむけての心構え等を指導し、今まで以上に個々人の要望に沿った丁寧な対応をS・L担任を基本に学科として取り組む必要がある。

本学への入学に関する満足度は、大変そう思う、ややそう思うが93%であるが、さらに高めるためには、教育内容と就職支援のさらなる充実が求められる。記述項目である成長のきっかけについては、肯定的で前向きな内容のみであり、教職員の励みになるものであった。

以上

## 2019（令和元）年度 卒業時アンケート調査結果の分析 （保育学科）

IR 副委員長 木村美佐子

2020年3月14日に卒業した学生を対象に実施したアンケート調査の結果について、保育学科49名（回答率100%）の内容を以下の通り分析した。

「**本学での授業や活動における自分自身の成長**」について、「大変そう思う」から「全く思わない」の5段階で回答を求めた。その結果「大変そう思う」46%、「ややそう思う」48%であり、9割以上の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

「**成長できたきっかけや経験**」について自由記述で回答を求めたところ、「実習」を挙げた学生が最も多く、次いで「授業」を通して、「多くの知識・技術を得たこと・グループワークの学び・課題を諦めずにやり通すこと等」の回答が多かった。その他には「サークル」「キャンパスサポーター」「学友会」等の授業以外での経験を挙げる学生が多かった。これらの回答から、「実習」や「授業」が最も成長を実感できる経験であることがわかり、これらを充実させることが重要であることが再確認できた。

「**在学中に力を入れて取り組んだこと**」を選択で複数回答を求めた。結果は「短大の勉強」の回答が最も多く、次いで「資格取得」「アルバイト」が多かった。これらの回答から、本学学生は学業によく取り組み多くの資格を取得するため努力したことがわかる。さらには学生生活を支えるため経済面においても努力していることが伺える。

「**授業や活動を通して身についたこと**」をディプロマポリシーの7項目と「その他」の8項目の中から選択で複数回答を求めた。その結果「知識」「コミュニケーション力」が多かった。次いで「技能」「思考力」「判断力」が同程度の回答があった。全ての項目に回答が多くみられ、2年間で講義、実習、グループワーク等の演習を経験し、様々な面で自身の成長を実感していることがわかる。

「**本学の教育内容の満足度**」について、100点満点で評価を求めたところ、70-80点が最も多く、次いで50-60点、60-70点が多かった。90-100点が僅差であるが最も少なかった。満足度が60点以下の学生が相当数（9名）いることは衝撃的な結果であり、保育学科の教育課程全体の問題なのか、あるいは一部の教育内容に関する評価なのか、客観的に分析することが求められる。

「**身近な進学者に本学を勧めるか**」について、「大変そう思う」から「全く思わない」の5段階で回答を求めた。その結果「大変そう思う」27%、「ややそう思う」47%であり、7割を超す学生が勧めると回答していた。一方「あまり思わない」「全く思わない」と回答した学生が6%であった。また、「どちらでもない」と回答した学生が20%であり、今後はこうした回答の理由についてさらに質問することで、学生の对本学に対する評価をより深く把握できるものと思われる。

「**進路は希望に沿ったものか**」を「希望通り」から「全く希望通りではない」の5段階で回答を求めた。その結果84%の学生が「希望通り」「ほぼ希望通り」と回答している。「全く希望通りではない」の回答は0%であり、「あまり希望通りではない」学生も2%と低い結果となった。この学年は1名を除いて全てが専門職に就職しており、希望する職種に就いたことを評価していると考えられる。しかし「どちらでもない」の回答が14%であり、その要因が何かを明らかにするために、今後もSL教員を基本に学生の

要望に沿った丁寧な就職支援が求められる。

「函館短期大学に入学してよかったか」について「大変そう思う」から「全く思わない」の5段階で回答を求めた。その結果94%の学生が、「大変そう思う」「ややそう思う」と回答し、「あまり思わない」「全く思わない」の回答は0%であった。このことから学生は、勉学に励み、長期にわたる実習を乗り越えて成長を実感し、本学での2年間に概ね満足していることがわかる。

## まとめ

2019年度の卒業時アンケートにおいて、自分の成長を感じ本学に入学してよかったと回答した学生が9割を超えていることから、概ねの学生は2年間の学校生活に満足していると捉えることができる。

しかしながら、2018年度の卒業時アンケート調査と比較すると、「本学での授業や活動における自分自身の成長」「本学の教育内容の満足度」「身近な進学者に本学を勧めるか」「進路は希望に沿ったものか」「入学してよかったか」の全てにおいて、2019年度の方が低い評価となっている。特に「身近な進学者に本学を勧めるか」は「大変そう思う」「ややそう思う」の回答が昨年度94%であったのに対し、2019年度は74%と大きく低下している。低下の要因については、2019年度の「教育内容」に関する評価が低いことから、「身近な進学者に本学を勧めるか」の項目で74%と2018年度に比べて低い結果につながっているとも考えられる。入学生の確保には卒業生、在校生の口コミが大きな影響を持つことから、「勧めない」要因を分析し、改善することが急務である。今後も授業評価アンケートを継続し、学生の意見を丁寧に聞き取りながら、一人一人の教員が授業改善に努めることが求められる。

# 2019 年度 卒業時アンケート調査結果

2020年3月14日に卒業した学生を対象として行ったアンケート調査の結果について、回収率と各設問について以下に記す。

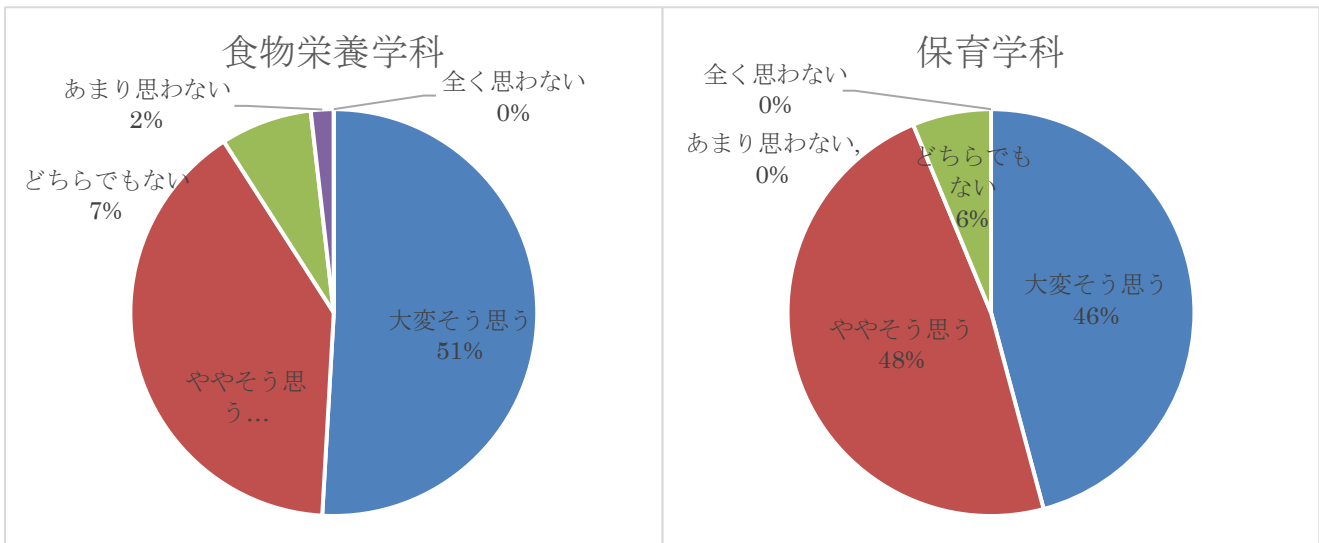
## I. 回収率

合計 96.3% (104/108)、食物栄養学科 93.2% (55/59)、保育学科 100% (49/49)

## II. 各設問回答結果

### 1. 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。(1つ選択、○を付ける)

①大変そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤全く思わない

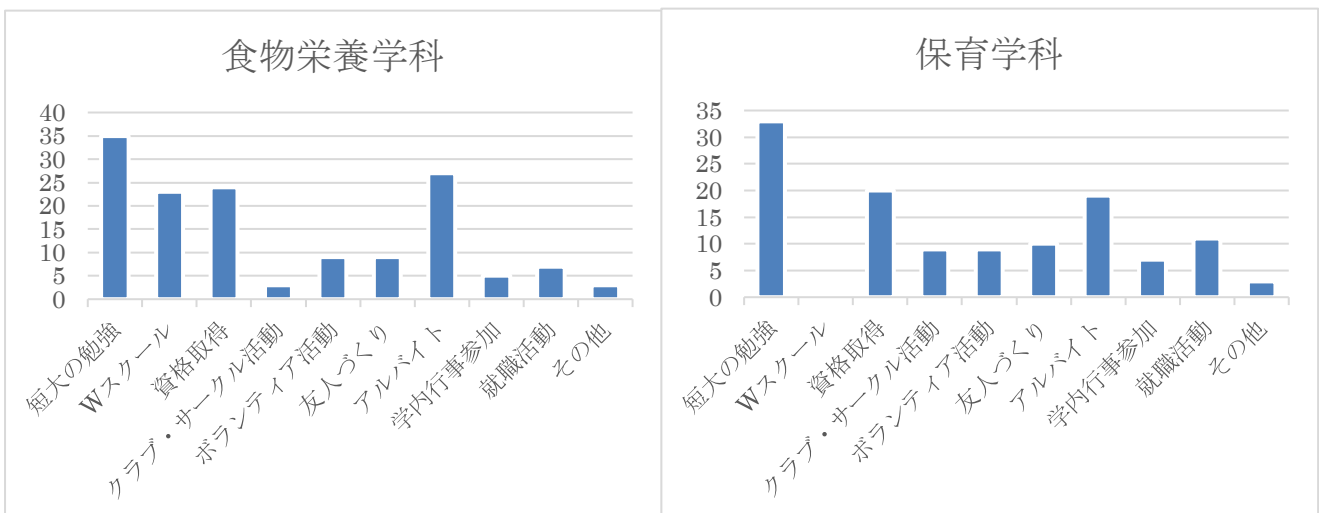


### 2. 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。(記述)

後述

### 3. 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。(複数回答可、その他は具体的に記載)

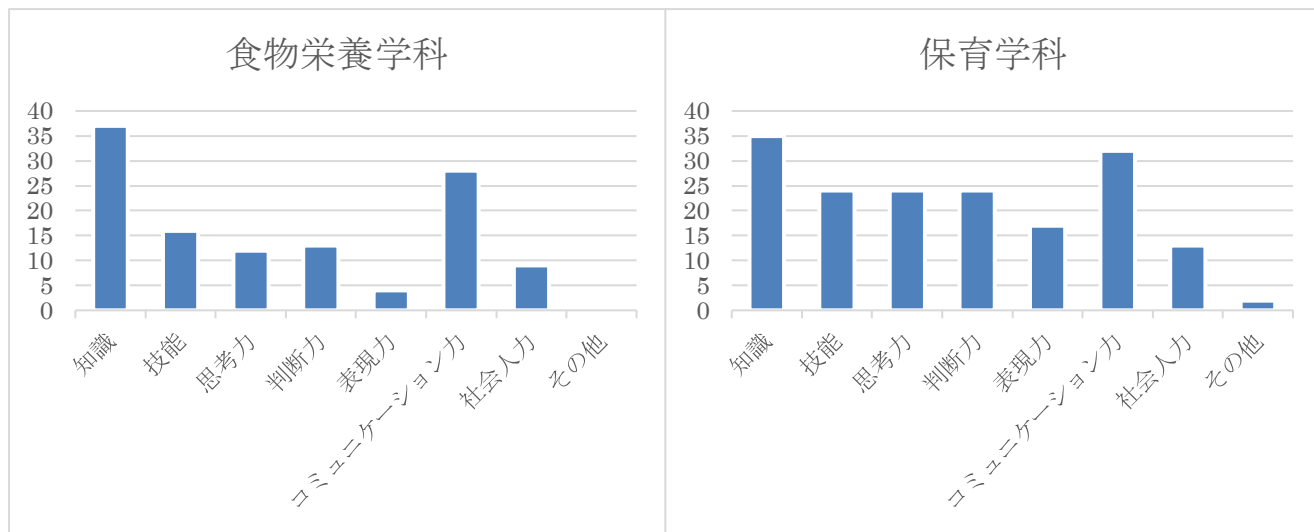
①短大の勉強 ②Wスクール ③資格取得 ④クラブ・サークル活動 ⑤ボランティア活動  
⑥友人づくり ⑦アルバイト ⑧学内行事参加 ⑨就職活動 ⑩その他 ( )



その他記述 食物栄養学科：学科外の別の勉強、学友会、TA、保育学科：皆勤、学友会

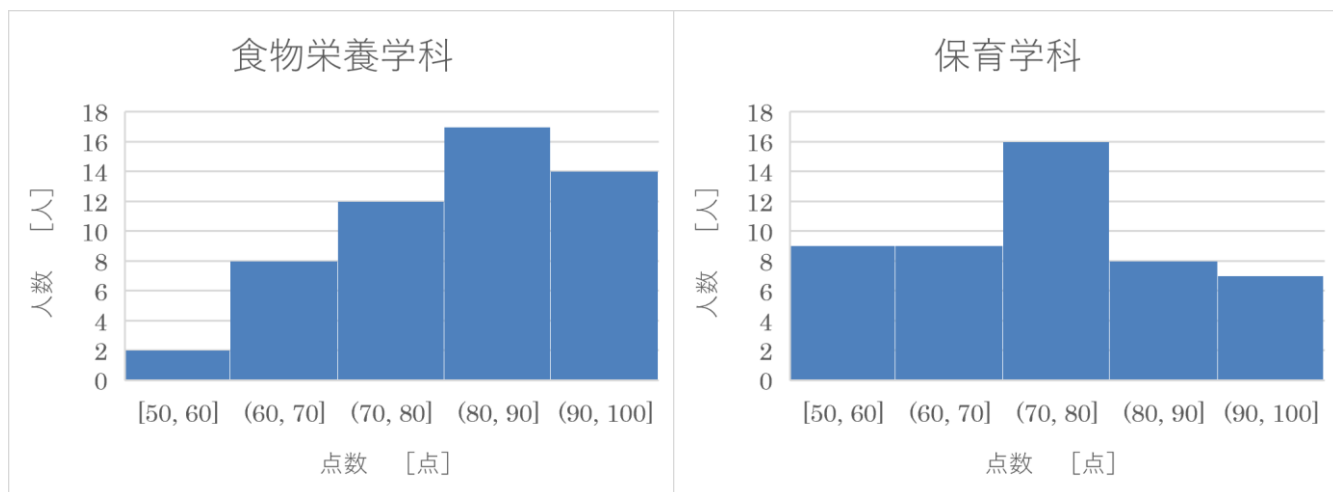
4. 本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください。(複数回答可)

- ①知識 ②技能 ③思考力 ④判断力 ⑤表現力 ⑥コミュニケーション力 ⑦社会人力  
⑧その他(具体的に)



その他記述 保育学科：温かい心、保育者精神

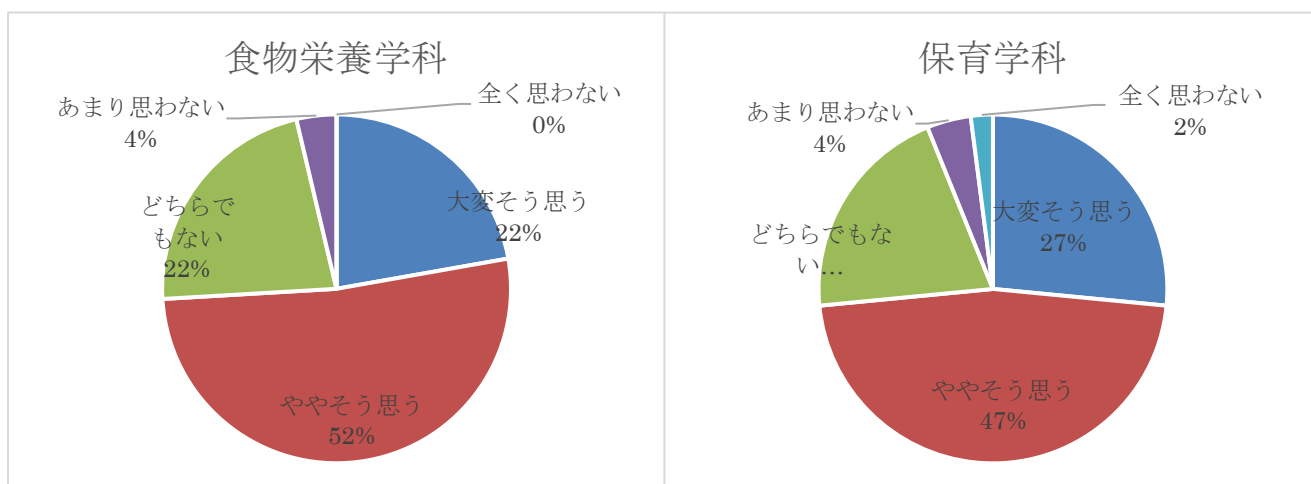
5. 本学の教育内容にどの程度満足していますか。100点満点で評価し、内容を記載してください。



内容後述

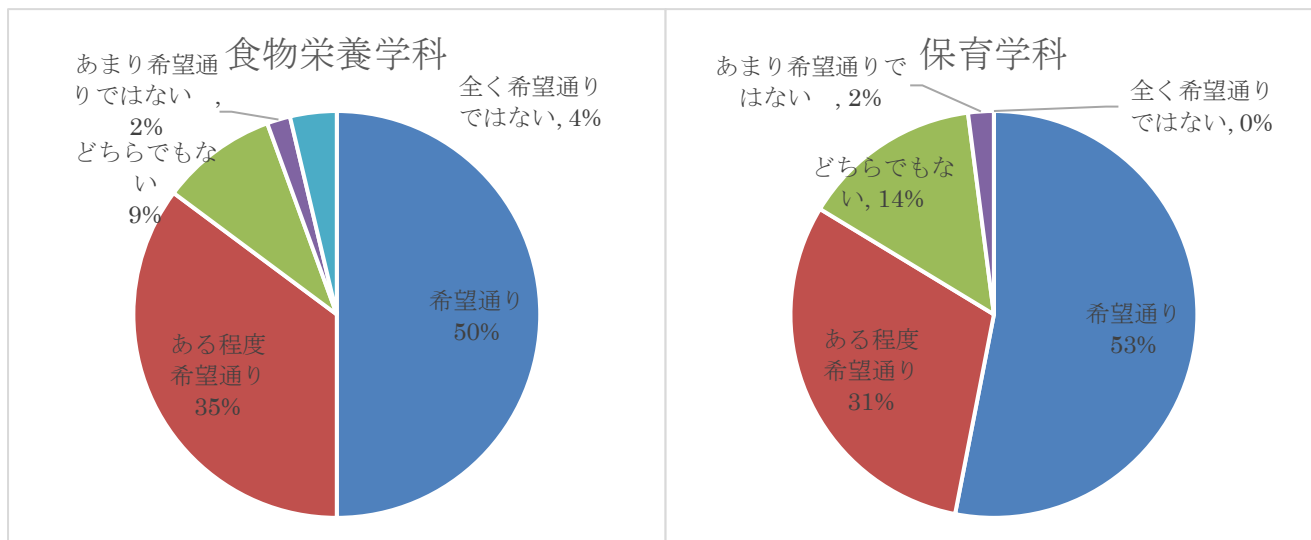
6. もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。(1つ選択、○を付ける)

- ①大変そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤全く思わない



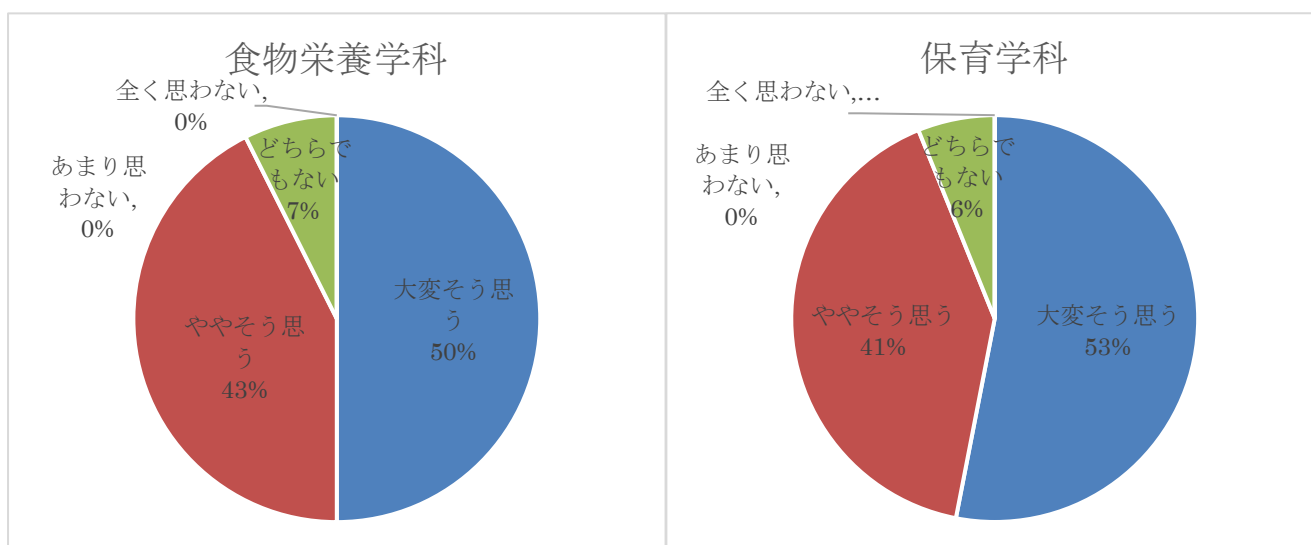
7. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。(1つ選択、○を付ける)

- ①希望通り ②ある程度希望通り ③どちらでもない ④あまり希望通りではない  
⑤全く希望通りではない



8. 函館短期大学に入学してよかったと思いますか。(1つ選択、○を付ける)

- ①大変そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤全く思わない



## 2. 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。(記述)

### 食物栄養学科

実習や授業など自分の勉強だけでなく友達とも協力できた。
大変だったことを乗り越え、こうして卒業できたことが自信につながっています。
特になし
仕事につながるコミュニケーション力が身についた。
2年間、苦しい時も仲間とともに乗り越えてきたこと。 <ul style="list-style-type: none"><li>・生活環境の変化</li><li>・1からのスタート</li><li>・栄養士の勉強</li></ul>
さまざまな資格の勉強をしたことにより、食物や栄養に関する知識が増えた 実習でただつくるだけではなく衛生面も気にして調理することを学んだ
学校で学べたことは、自ら学ぶ姿勢が何より必要だという事です。みなが4年大に行った中、自分が短大という選択をした時、私は、不安でした。ですが、ここに来て、どこで学ぶかよりも、何を学ぶかということ。そして、受けるだけでなく、自分から食欲に学ぼうとする事の大切さなど、数えきれないくらいのをこの大学にもらいました。改めてありがとうございました。 自分の家では、親がやってくれたことも、全て自分でやるという環境に身を置くことで自立につながったと思います。 2年だからこそ、多くの体験を短めのスパンで参加させてもらうという形態が私を成長させてくれたと確信しています。
料理が好きになったり、上手になった。
苦手な料理を家でやるようになった。 課題をため込まず、すぐやる事で時間を有効に使えるようになった。
人見知りで話しかけることができなかつた私が、函短に入学してから色々な人と友達になり自分から話しかけることが多くなった。
一人暮らしなどをはじめたことで、自分で何かをやりとげるときに自分の力で行うことが多かつたということです。
授業や実習で実際に行動したり、色々な人といはなす機会が多かつたのでコミュニケーション能力や行動力が向上したと思います。
初めて、覚える事、勉強をした。 学友会という、仕事をした。
教育実習を無事に終えたこと
自分で行動を初めなければいけないものが多かつたこと
コミュニケーション等の取り方がスムーズになった。
入学当初は一人暮らしに不安があり、心配だったが2年間住んで、家事をこなし、食事作りもなれることができた。
グループ活動
学びたかつたことについて理解を深めることができた。 また、高校生るときよりも、大人の方と接することが多く、社会に出たときの準備になった。
教育実習を2回も経験でき、人間的にもとても成長できました。
考え方が広くなつた。

積極的に行動する力が身についたと思う。勉強や、アルバイト、ボランティアなど様々なことに挑戦することができた。
社会人になるための基礎を教えてもらった。
実習が、実際に体験できて身についた。
知識が増えた。
1 文章力が高じょうしました。レポート等のおかげで2人と接することがうまくなった。
実習での活動を通じて、社会に必要な、礼儀や仕組みを学ぶことができた。
SL 長やクラス長、学友会を通して、自分に厳しくすることや前に出ること、意見を出しまとめることなどが多くなり、自分の成長につながったと思います。
実習で積極的に動けるようになった。
栄養についての知識や、技術が身についた。
1人で行動できるようになった
自分で解決できることが多くなった。
実習や発表を通して、成長できたと思います。
初めての一人暮らしで人としてレベルアップできたと思います。また、実習を通して栄養士としてのスキルがアップできたように考えます。
学友会での活動の中で地域のお店や、企業さんと、協力したり、することで社会にでたときの力がついたと思う。
新しい知識をたくさん身に付けて実習などに役立てることができた
入学してはじめてのころは、わからなかった、知らなかった知識を卒業に近づくにつれ、身に付けることができたと感じた。
人前で発表する機会や、W スクールにかよふのは大変だったががんばることができたため
教職コースをとり、自分の意見を人前で積極的に述べるできるようになりました。
実習・実験を通して経験を詰むことができた。
実際に実習に入ったり現場を体験して栄養士という仕事を実感する事ができ自分の成長にもつながった。
知識や技術は家で料理してる時など身についたなと実感します。 また、調理実習では技術などの他にコミュ力がとてもついたと思います。
いそがしいと思う中、両立して学業と私生活を充実させることができた

## 保育学科

キャンパスサポーターやサークルでの成長実習で学んだことからの成長
普段の授業や学友会活動、幼稚園、保育園、施設での実習
やるべきこと(課題等)を期日までにしっかり行うことが出来るようになった。
子どもとの関わり方が今までと変わった。
実習に行き、直接子どもと関わる中で、子どもの気持ちを理解できるようになりました。
・ボランティアを積極的に行ったので積極性と人間関係が多きく成長したと思います。
実際に現場に行って、保育者の対応や子どもの様子を見て、どのような行動をすればいいかだんだんとわかるようになりました。
実習を経験してみて、色々なことを学べたので成長できた部分だと思います。
周りの意見を参考にし、自分なりにさらに工夫する方法等を考えることができた。



CSでの高校生を相手に手遊びをしたり、壁面をつくったこと。
座学だけでなく、現場での実習も行うことで、積極的に行動することができました。
つらかったり、失敗したりもしたが、実習など、社会の現場に行く機会があったので、少しは成長できる経験になったと思います。
保育の技術だけでなく、DVD等を使用し、心の成長や現状の把握など、様々な面を学ぶことができました。また、サークルでの成長〜〜〜かったです。
実習です。
専門的知識・技術を応用し、将来への力にすることができた。 人間性を育て、社会人としてのモラルを学ぶことができました。
不安になった時でも学校生活や実習を乗り切ったことで自信を持てるようになった。
学友会での学校運営
不足していると思うことを知ることができたから。 (実習・座学などを通して)
保育について学べ、人間関係を築くことができたから。
とくになし
社会にでる上で必要なことを段々と知ることができた。
実習。
責任感が身に付いた。
とにかく、単位がきれても頑張った。
部活での取り組み、ボランティア活動等
オープンキャンパスのサポーターや、様々な発表でのリーダーなどを務め、その中で大きく成長できたと思います。
「子どもが好き」という気持ちから「子どもの命を私たちがしっかり守る」という思いに変化しました。きっかけは計4回の実習です。そこでただ“子どもが好き”、というだけでは、この仕事はやっていけないと思うことができました。
レポートが書けるようになった時、学校で学んだ事を実習で活かすことができた時
これまで全く関わったことのない保育という分野の仕事に就きたく思い入学した。 保育の勉強をして、ますます保育を行っていきたくなった。
今まで何でも後回しにしていたことも、大学に入り、実習などを経験していくうちに、“子どもの憧れ”、“子どものお手本”という意識が芽生え、責任感や計画的な行動を身につけることができました。
ボランティアでの様々な人との関わりや福祉系の講義を受けることで、広い視野で物事を考えられるようになったと思う。
少し朝起きれる様になった。
人生の中で一番勉強に真剣に取り組むことができた2年間でした。 様々な活動の中で保育に対する考え方などを学び自分のあこがれていた仕事に就くことができたときに成長したなと思いました。
実習や普段の授業の中でのグループワーク・実践演習を通して、今までできていなかったことができるようになりました。
実習
たくさん課題等をこなしていくなかで自分の良さなどを知ることができた。

実習を通して、子ども達と関わり、様々なことを学び、成長できた。
子どもの発達段階や、年齢に合わせた対応の仕方等、実習、授業を通して理解し、実践することができた。
実習を中心に実践的な学びをしたこと。
授業が実習を通して人前に出ることが多くあり、プレッシャーに打ち勝つことができるようになった。
実習に行ってたくさんのことを学べたから、実践することができたから、
いろいろな科目でのグループワークでの話し合いや他者と共感し合ったり、自分の考えを伝えたり、人前での発表することなどが少しずつ経験を積み重ね出来るようになったこと。
自ら学びたいと思う精神を身につけることができたことが成長できた点です。
クラス全員で協力し合いながら最後まで諦めることなく、一生懸命、努力し、最後までやり遂げたこと。今までの人生の中で一番勉強したと思う。
実習や製作やノート作り、暗記等、勉強する事がないこの歳で改めて行う事で視野や考え方が広くなれた。
2かいめの学生として、より多くの実習を経験したことで深まったことは、沢山あります。
実習やクラスの方々の関わりから

##### 5. 本学の教育内容にどの程度満足していますか。100点満点で評価し、内容を記載してください。

###### 食物栄養学科

点数	記述
100	実習実際の現場に近いものを学べた
90	外部の先生の授業内容が充実すればもっと良いと思います。
90	授業でわからないことがあったら、個人でわかるまでおしえてくれる
90	先生と生徒の距離が近くて、わからないことをきいたり、何でも相談できて良かった。
90	栄養士資格取得を目指したカリキュラム等がしっかりしていて、しっかり勉強できた。
90	時間がつめつめ。
90	夜間と休みを合わせてほしい
90	栄養士としての知識を身に付けることができたと思う
90	少人数であるため、より実践的に学べるのが良かったと思います。
89	基本的な内容には個人的には、文句はありません。ですが、とてもおもしろい授業が時間が少なかったり、短大という短い時間だからこそそのデメリットは、ものすごく惜しいと思った。
85	専門知識を多く学ぶことができた。
85	教科書を読んで授業が終わりの先生がいてきちんと身につけなかった。
80	自分が成長できたと感じた。
80	授業で理解するのが大変だった教科あり。
80	Wスクールがとても魅力的だと思います。
80	実習
75	実習系は身につく事ばかりだった。座学系があまり知識を得る授業が少なかった。もっと知りたかった。
70	教育内容には満足しており、あとは個人の努力だと思います。
70	短大なので4年分を2年分で行うと思ったが思ったよりも休みも多かった。勉強量が想像以下

70	勉強をさぼってしまった
70	授業によって楽しく学べるものと、楽しくなく、つまらないものがあった。

保育学科

点数	記述
100	SL
100	短期間なのに、たくさんの知識をつけてくれた
100	どの教科も先生方が一生懸命指導してくださってるお陰で満足した学校生活を送れました。
100	グループワークが多かった点や実例を通した学びを得た点。 音楽系の授業時間や内容が更に良くなってくれるとなお良い。
100	満足できる内容でした。 ありがとうございました。
98	全てが子どもに関する教科ではありませんでしたが、1つ1つに意味があり就職する上で1つも欠かせないものだったと思います。
90	知りたかったことや、学びたかったことが、2年次の後半に授業がある。
90	お遊戯会等でやるダンスや演奏の成長も学びたかったです。
90	先生方も優しく親身ななって教えて下さり、自分の知識も身に付いた。
86	音楽、先生が何を言っているか分からなかった
84	プリントや説明がうまいので集中してうけてもらいました。
80	先生方が親身になって相談に乗ってくれるため、就職等不安があまりなく、良かった。
80	もう少し実践的な授業があってほしい。
80	れんらくが不足している時があり、あわただしい学びになることがあった。
80	音楽表現が不足 授業を行っている意味がなかった。もっとたくさん実践を積み重ねてほしい。
80	もっと豊かな学びをしたかった。教員に不満がある。
80	教育・保育実習の事前指導
80	実践演習等など実際に手遊びを皆の前でやってみる。何かつくってみるという内容が多いと自信がつくと思う。
80	子どもの保健は覚えるのが大変だったけど、保育現場では役立つ大切な授業内容だと思いました。 あとは保育に必要な資格だけではなく、沢山の資格もとれるのが良い所です。
78	幼児体育では、子どもたちの年齢に合った遊びを学ぶことができた。
75	実践的なことから知識的なことまで、教科書にないことも教えて頂いた。実際に教諭や保育士をしていた人から、もっと学べたら嬉しかったと思う。
75	幼児体育のような、子どもたちに対する教育
70	連絡が不十分な所があった
70	連絡等が急 授業内容
70	専門的なことを学ぶので、小中高とは違い、学力のレベルの面についていけないこともあるが、保育の勉強を詳しく教えてもらえる。
70	意味があるのかなと疑問に思う講義もあった
70	様々なことを体験できる。実習後の振り返りができて自分に身につく。よくわからない内容の授業

	がある。
70	実習に向けて実践的な内容をもっとたくさん、実習前に行いたかった。 実習前に学んでから実習にいどみたかった科目が多くあり、残念に思うことが多くあった。カリキュラムに...
60	細かな所や自分のためになることが学ぶことができた。
60	教科によって学びの差があった。
60	特定の先生の授業が×
50	そもそも単位がきれてるから、50点
50	障害児保育、音楽→評価できない ・実習園と学校の連携不足、実習の指導内容の統一化 ・現場での授業不足 ☆先生達が手厚い、親身になってくれる。